Gordon Mangione からの歓迎の手紙

最終更新日: 2007年7月18日

SQL Server 10 周年記念の祝賀にご参加いただきありがとうございます。10 年にわたる皆様のご支援のおかげを持ちまして、SQL Server はエンタープライズに対応する堅牢なデータ管理システムへと成長し、その実績を積み上げることができました。この 10 周年記念は、マイクロソフトと、長年にわたって SQL Server の開発をご支援いただき、その間に最も急成長を遂げたデータベースに育成いただいたパートナーおよびユーザー様との合同の祝賀です。

ユーザーおよびパートナー各位のご協力の下、マイクロソフトはデータベースの景観に変化を与えてきました。10 年前、データベース業界にまったく新しいいくつかの概念を導入するために、小さな開発チームが結成されました。その後の 10 年間で、これらの技術とプログラムは大きな進化を遂げ、データに関する組織の考え方や使用方法を根本的に変えてきたのです。

マイクロソフトは皆様の要件に基づき、ミッション クリティカルな大規模アプリケーションの処理が可能で、しかもあらゆる規模の企業にとってコスト効果に優れ、管理の容易なパワフルなリレーショナル データベースの開発に努めてきました。と同時に、リレーショナル データベース管理システムが提供すべき機能に関する 新しい先例 を打ち立て、データベースのさまざまな新しい手法を業界に導入してきました（「SQL Server の 10 の先駆け」参照）。次の事項はすべて SQL Server が最初に実現してきたことです。

|  |  |
| --- | --- |
| • | 自動設定、自動管理、自動回復を実現する組込みツールを提供することにより、従来は手作業によるデータベース調整に貴重な時間を費やす必要があったデータベース管理者の負担を軽減しました。 |
| • | 分析サービスを標準で追加しました。これによって、組織内の全階層のユーザーがデータにアクセスして、より適切な決定をより迅速に下せるようになりました。また、ビジネス インテリジェンスが、組織内の主流のツールとして認識されるようになりました。 |
| • | エンタープライズ レベルの品質、パフォーマンス、拡張性、および信頼性を維持しながら、データ管理のコストを低減しました。 |

SQL Server コミュニティ全体からの支援がなければ、この 10 年間の進歩はもっと遅かったに違いありません。これから 6 か月の間、「SQL Server への声」のページに、データベース業界の主要な人物とのインタビュー記事を掲載する予定です（「SQL Server への声」参照）。皆様には是非、このページを頻繁に訪れて、マイクロソフトのエンジニア、顧客、またはパートナーの SQL Server に関する新しい観点をご覧ください。

最後になりましたが、過去を振り返って祝うこともまた楽しみです。10 年の歴史には、「SQL Server あれこれ」のページを見て初めてわかる事実や弱点もあります（「SQL Server あれこれ」参照）。このページは、SQL Server、データベース業界、およびマイクロソフトに関する全体的な事実を集めたものです。ここに示された統計のいくつかには、きっと驚かれることでしょう。

SQL Server への継続した投資に対して、私からも個人的に感謝を申し上げます。これまでの 10 年間は革新に満ちていました。これからの 10 年間もそれと同じく興味深いものになることを保証いたします。SQL Server チームがこの 10 年の間に何を成し遂げてきたか、マイクロソフトが将来の革新に対してどのように投資しているかの詳細については、「SQL Server ロードマップ」を参照してください（「データ管理の展望 : SQL Server 誕生からの 10 年」参照）。

## SQL Server コミュニティへの参加

まだ MCDBA (Microsoft Certified Database Administrator) になることを検討していない場合、または SQL Server マガジン日本版 などの利用可能な SQL Server コミュニティに参加していない場合は、今がそのチャンスです。マイクロソフトはこれらのコミュニティやプログラムを支援し、皆様からのフィードバックに耳を傾けることによって、SQL Server に投資する価値を引き続き向上させていきます。SQL Server でのこの先 10 年間の革新を見逃すことのないよう、コミュニティに是非ご参加ください。

皆様のご支援に対して、重ねてお礼申し上げます。

*

Microsoft SQL Server 担当副社長   
Gordon Mangione



**Gordon Mangione** は、マイクロソフト SQL Server チームの担当副社長として Microsoft SQL Server ビジネスを統括し、Microsoft .NET サーバー製品を定義する上でも重要な役割を果たしています。現職に就任する以前は Exchange チームのバイス プレジデントを務め、Exchange 2000 の中核コンポーネントの全体的な設計、開発、出荷を統括していました。マイクロソフトには 1991 年に入社し、それ以前は Bell Northern Research の開発者として、PC/ テレフォニー統合に従事していました。

免責事項

*本書に掲載されている情報は作成された時点での情報であり、その内容は予告なく変更される可能性があります。本書に記載された情報は、本書各項目に関する発行日現在の Microsoft の見解を表明するものです。Microsoftは絶えず変化する市場に対応しなければならないため、ここに記載した情報に対していかなる責務を負うものではなく、情報の信憑性については保証できません。*

*本書は情報提供のみを目的としています。 Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。*

*すべての当該著作権法を遵守することはユーザーの責務です。Microsoftの書面による明示的な許可なく、本書の一部または全部について、転載や検索システムへの格納または挿入を行うことは、どのような形式または手段（電子的、機械的、複写、レコーディング、その他）、および目的を問わず、禁じられています。これらは著作権で保護された権利を制限するものではありません。*

*Microsoft は、本書の内容を保護する特許 (申請中のものも含む)、商標、著作権、またはその他の知的所有権を保有している場合があります。Microsoft から書面による明示的な使用許諾契約書が供給される場合を除き、本書の提供はこれらの特許、商標、著作権、またはその他の知的財産へのライセンスを与えるものではありません。*

*特に断りのない限り、本書に例示した会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、およびイベントは架空のもので、実在の会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、あるいはイベントとは一切無関係です。*

*Copyright © 2011 Microsoft Corporation. All rights reserved.*

*Microsoft、SQL Server、およびWindows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。*

*その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。*